

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	8
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	2
5. 人材の育成と支援	0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

事業所番号	1472101235
法人名	社会福祉法人 伸こう福祉会
事業所名	クロスハート二階堂・鎌倉
訪問調査日	2014年11月25日
評価確定日	2015年3月13日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について
 外部評価は20項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [次ステップに向けて期待したい内容]
 次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成 26 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472101235	事業の開始年月日	平成17年2月1日	
		指定年月日	平成23年2月1日	
法人名	社会福祉法人 伸こう福祉会			
事業所名	クロスハート二階堂・鎌倉			
所在地	(248-0002) 神奈川県鎌倉市二階堂267-67			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成26年11月10日	評価結果 市町村受理日	平成27年4月14日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然豊かで静かな住宅地の中にある落ち着いたホームです。木造2階建てでテラスがありお茶を楽しみながら鳥のさえずりが聞こえます。法人のグループホームの理念で「おしゃれに・おいしく・おつきあい」を心がけていますまたAED設置拠点として地域の皆様と共に救急救命講習を開催したり、自治会と互助の関係作りに力を入れて防災訓練等実地しております。スタッフの知識・技術の向上を目指し研修を充実させて認知症のご利用者様の思い・ご家族の願いを尊重し個別のケアを実践しています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 SYビル2F		
訪問調査日	平成26年11月25日	評価機関 評価決定日	平成27年3月13日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

伸こう福祉会の発足は、年々高まる福祉、介護サービスのニーズに対して、それを必要とする人々の意向を尊重し、能力に応じ自立した日常生活を地域社会で営む出来るように支援することを目的に1999年3月にさかのぼります。方針の「昨日より今日、今日より明日、よりよいお手伝い」を胸に全職員が取りくんでいます。理念の「たくさんのおきものを人生の先輩たち。後輩たち、そして地域に捧ぐ」に基づき設けられた「クロスハートスタイル」はスタッフ自身の身だしなみや言葉遣い、マナーなどの環境整備の基準を定め、全員参加型経営を指向したニュービジネスモデルの構築に取り組んでいます。より良いサービスの向上目指しての入職期間並びに役職に応じた総合的な研修と分野ごとのプロフェッショナルを育成する専門的な研修の実施、それに加えて連続休暇制度の導入等、働きやすい職場環境整備にも取り組んでいます。2012年度末の利用者数は福祉部門全体で934人、その内グループホーム部門では207人を数える規模に達しています。そのグループホームの1つが、当「クロスハート二階堂・鎌倉」です。所在はJR鎌倉駅から、京急バス「大塔宮」停留所下車、徒歩10分ほどの鎌倉宮のおくのとても静かな自住宅地の中にあります。モダンな中にも落ち着いた雰囲気施設の、経験豊かなスタッフが管理者を中心に日常活動に努めています。地域連携にも力を入れ、近隣の方との食事会やセミナーの実施、救急隊員の指導の下での心肺蘇生法や止血法の実技訓練を企画したりしています。玄関には諸資料を置き情報開示にも熱心に取り組んでいます。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	クロスハート二階堂・鎌倉
ユニット名	A棟

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念「たくさんのよきものを人生の先輩たち、後輩たち、そして地域のみなさまに捧ぐ」とクロスハートベーシックを毎月のミーティングで共有している、又地域密着サービス事業所が地域で果す役割も話し合い実践している。	毎年発行のアンニュアルレポートを全職員に配布し、ここでも理念に触れ、また、職員ハンドブックにも記載されています。毎月のミーティングで読み合わせを行う等、その確認と徹底が図られています。		今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会の行事に参加したり、ホームのご案内に掲示板や回覧板を利用させていただいたり、ランチ会にお招きしたり、自然に関わりが来てきている	地域との交流を図るランチ会を開き、それに併せて7月にはクロスハートセミナー「身近な認知症を考えましょう」開催し情報提供と、地域住民との意見の交換を行いました。近くの小学校運動会では子供向けにお菓子を準備したり、飼育中の亀の観察など地域児童との交流にも努めています。		今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	見学時やお問い合わせがあればいつでもご相談に対応している。情報提供もしているまたランチ会のときに認知症のセミナーも開催し好評を得ている、今後も継続していく			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し、利用者や職員の近況報告、また取り組んでいるサービスや、近隣との関わりなど説明し、意見をいただいている	市並びに包括支援センター担当者、民生委員の出席のもと定期的に開催し意見や提案も頂いています。そこで廊下に手すりを付けて欲しいとの要望が出ました。自立運動機能維持とスタッフが付き添うことによるふれ合いを大事にしたこととのホームの意向を説明し了解を得ております。		今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市が主催のイベントや研修に協力している地域密着サービス連絡会やケアマネ連絡会にも参加しているため毎月市の職員とは顔をあわせている、市の窓口にも顔をだしている	市当局は福祉関係に力を入れていて、かつ積極的です。介護保健制度の説明や質問にも応じてもらっています。入居相談について依頼があり出向くこともあります。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止宣言委員会を事業所内に設立し、所内研修、外部研修も参加させ、身体拘束をしないケアを行っている	身体拘束廃止宣言委員会を設けて内外にもアピールし、その確認と徹底を図っています。玄関扉は施錠せずに、センサーで出入りに気づくようにして声掛けをしています。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修も毎年行っている、ご利用者に話しかけたり、接する時に意識したケアを心がけるよう周知している、ご家族来訪時もさりげなく観察している		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修も毎年行っており後見人制度についても社内・社外で学ぶ機会をもうけている、市主催の説明会には管理者が出席してスタッフに落とし込んでいる		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては問い合わせや見学時に説明し、契約日までに疑問やわからないことなどを確認し納得していただいた上で、契約日に再度理解しているか確認しながら契約している		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付の窓口設置している。玄関に理事長宛へのボックスも設置されて、これとは別に法人本部に相談できる体制がある。市や国保連に相談できることも知らせてある	お客様の声はサービスをより良くするための一番の薬との認識で、利用者が気軽に話してもらえるように日頃から関係作りに努めています。「理事長への手紙」BOXを設け、また、電話で質問を受けた場合もお客様の声として運営に活かすことにしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の全体ミーティングでスタッフの意見を聞く機会を設けている。法人本部にも直接スタッフの意見が届く体制になっている	毎月の事業所別会議の内容は本部で行われる管理者会議で報告し、その会議内容は次回の事業所別会議にフィードバックして意志の疎通を図ることにしています。スタッフとの個別面談も適宜行い、理事長BOXの活用も行っています。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に1回昇給についての面談を実地。他に随時職場環境について話し合う機会を設けている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内でクロスハートカレッジ研修が整備されており全員受講している、外部研修や内部研修も充実している、希望の研修も参加でき、スタッフのスキルアップを図っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域密着サービス連絡会や市主催の研修で同業者と交流する機会が多い、また法人内の同業グループの集りもあり勉強会や相談ごとなど共有してスキルアップを図っている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	訪問調査時や入居時に十分なアセスメントを行い、生活史や習慣・趣味等を把握、ご本人の言葉・動作・表情から気づきのケアを実践、信頼関係を大切にしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の相談の段階からご家族の願いや困りごとを聞きケアに反映させている、入居もご家族とのコミュニケーションを図り信頼関係を築いている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居に至った経緯とご本人・ご家族との面談で「今、必要な支援」を提供できるよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に生活しているとゆう感覚・お互い協力して、役割分担をし、家事や買い物、散歩、ドライブなど一緒に出かけて楽しんだり、日々の暮らしの中で楽しく過ごせる環境作りをしている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族とのコミュニケーションは日頃よりよくとっている 近況報告や気づき又あまり面会ないご家族には来訪を促したり、来訪時は相談ごとやご家族の思いを伺って支援している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人が生活していた地域での買い物や馴染みの場所に行ったりしている。昔からの知人や友人に来訪していただける方はご本人・ご家族の了解の上で来て頂いている	以前からの関わりにもある場所に行ったり、馴染みの人に会うことを楽しみにしてており、それに応えるようにしています。近所の買い物の際に顔見知りの人に会うこともあります。市の相談員の定期的な訪問では新しい話題も出て会話が弾んでいます。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者同士の会話を傾聴しながら、さりげなく場を提供したり、共同作業をしていただいたりしている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や転入時の相談や情報提供を随時行いご家族のフォローに努めている 死亡された場合もその後の信頼関係を築いている		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時にどのように過ごしたいか希望を聞き、アセスメント分析をした上でケアに落とし込んでいる ご自分の思いが言葉として伝えるのが困難な方はしぐさや表情などから察するようにしている	入居時の基本的な情報と、センター方式項目に独自の項目を加えて、思いや意向を把握するように努めています。また、感性が働く時の表情や仕草を見落とさないようにスタッフも気をつけて接するようにしています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族から生活歴や趣味や習慣等詳しく情報提供していただき、好きな事や習慣を生かした過ごし方が出来る様努めているまた居室に馴染みの家具等を持ち込んで頂いている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活の記録を毎日記入している、状態変化や必要に応じてアセスメントを実地、入居時と必要時は24時間シート使用し、ご入居者の状態把握に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを開催し、ご家族・ご本人・ナース・主治医の意見を聞き、スタッフで話しあったことをプランに反映している	日々の活動記録や排泄、嚥食状況の記録をチェック確認し、医師の診断、看護師の助言に本人並びに家族の意向を加味して計画を策定しています。病後の方にはより慎重に対処しています。他方、外出が好きな方や手伝いを好む方には本人の意向を反映させるようにしています。	今後の継続	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にケアノートに記録している、センター方式の私の姿シートも活用、スタッフで共用しプランやケアの手順などの見直しを行っている			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人・ご家族の状況変化や重度化に対して「今」出来ることは何かを既存のサービスに捉われない柔軟な支援を行っている			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの方に来ていただいたり、防災訓練や普通救命講習会やセミナーに地域の方に来ていただいている			
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にご家族・ご本人に説明し、了解を得たら提携している医療機関と契約していただき2週間に1回の訪問診療を行っている	月2回の往診があり、内1回は合同で、あと1回は個別で診察を受けています。歯科に関しては週1回口腔ケアを含めて全員受診しています。リハビリのためのマッサージを受ける方が7名います。従前からの病院を希望される方は家族対応をお願いしています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週訪問看護師にご入居者の状態を詳しく伝え、専門的な意見や指導を受け健康管理をしている、24時間コール体制を獲っており連携している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、病院に情報提供し適宜、様子を見に行き、退院の見通しがついたら衣料連携室と連絡を取り、カンファレンスを開催してもらっている 病院関係者とは日頃関係作りに努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に説明して理解いただいている 重度化した場合はその都度ご家族と話し合いをして今後の支援の方向性を決めている見取りケアもご家族の希望で医療機関の協力のもとチームで取り組んでいる	看取りに関しては入居時に説明し、意向も伺っています。医師が医学的知見に基づき回復の見込みがないと診断した際には、本人また家族の同意を得た上で看取りケア計画を策定し、医師、看護師等の連携協力のもと慎重に対応することとしています。遺族が一周忌の際にお礼にも見えています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応は繰り返し研修している マニュアルも備えている、医療機関からの指導も受けている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災避難訓練を地域の方にも参加して頂きおこなっている 災害時にどのように避難するのか日頃シュミレーションしている	年2回消防署立ち会いのもと自治会役員の参加も得て訓練を行っています。また、自治会主催の防災訓練には、ホーム側も参加して相互連携を図っています。施設設置のADEを用いての救命救助訓練を自治会にも働き掛け消防署指導のもと実施しています、備蓄も3日分確保しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者には常には敬意を持ち接している自尊心や羞恥心に配慮した言葉かけやさりげない対応を心がけている	マンスリーレポートを活用して日々の目標、今月の目標と振り返りを記入し、これをもとにミニカンファレンスを通して利用者への接し方を確認しています。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人がやりたいことや願いを聞いたり、表情を読み取ったり意思疎通を図っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝食はその方の時間に合わせて提供している、スタッフのペースではなく、個々の入居者様のペースと希望を考慮し支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日の整容、服装、おしゃれに気を配っている、女性はマニキュアも楽しんでいる		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたい物を聞いて一緒に買い物同行したり、食事の準備をそれぞれ出来る方に割り振りしてスタッフと和気藹々食事の片付けまで行っている	地元食材業者を利用していますが、1週間に1度は利用者と一緒に買い出しに行き手作りの食事を準備しています。行事食を外に食べに出かけることもあり、それを楽しみにしています。食材業者からは日々の食材と下処理、調理方法、カロリー内訳が届き、入念なチェックが行われています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量の記録、水分量のチェックをしっかりと行い、摂取量が少ない方には声かけや介助、食事の工夫、捕食等を適宜提供している			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを施行、週1回歯科診療でもチェックしている			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様それぞれのパターンを把握して排泄介助をしている カンファレンスも適宜おこなっている	排泄パターン表を用いて声掛け、誘導を行っています。自立排泄が回復した方はいませんが、スタッフの目標にしています。便秘回避のためのマッサージの指導と運動並びに水分補給には注意を払っています。		今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排泄パターンを排泄チェック表で確認、飲水を促したり運動を一緒に行ったりしている			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は決めているが、その日の希望入浴も考慮している 入浴剤も入れてゆっくり楽しんでリラックスして頂いている	週2回のサイクルで利用してもらいますが、希望者には適宜応じることにしています。入浴を忌避する方には無理強いをせずに日やスタッフを変えたり工夫しながら勧めています。入浴剤や季節湯も楽しんでもらっています。浴場は広く、湯船を壁から離し、3方向から介助可能になっています。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、お昼寝される方やフロアのソファを好まれる片、布団にこだわりがある方、など自由にさせていただく		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方内容は入居者個人ファイルでいつでも確認でき服薬介助等の留意点はカンファレンスで周知、また管理薬剤師に薬の副作用等わからないことを相談できる体制にしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	好きな家事を好きなようにさせていただく自然とそれぞれ役割分担できている。お酒の嗜好品も楽しんでいただいている。外出が好きな方は買い物やドライブに出かけている。ゲームや運動はみんなで盛り上がり気分転換になっている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的に外出支援は行っている。喫茶店でお茶したり、お弁当持参で遠方にも出かけて楽しんだりしている、ご家族の協力にて外食したり、時には外泊していただいている	手を持って歩く人、車いすを利用する人と身体状況に合わせた方法で外出をしています。離れた公園まで出かけソフトクリームを食べることを楽しみにしてる方もいます気候の良い時期にはベランダを利用してお茶を楽しんでもらっています。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	万が一なくしても良いと理解頂いたうえで小額のお金を持っていただいていることもある、ホームで管理している預り金からご本人に手渡して支払いまでいただいている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	出来る方は電話や手紙のやりとりを自由にやっていただいている、ご自分では出来なくて承諾いただいている場合はお手伝いしている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間はすべての人が居心地よく過ごせるようインテリアを落ち着いたものにし、生花も常に絶やさず季節を演出している、光や音・家具の配置も考えている、どの共用部分も清潔で暖かい空間を演出している	壁紙の色調、展示絵画、飾り棚と置物と大人のコンセプトの共用空間となっています。花瓶にはスタッフが持ち寄る生花が活けられ、季節感を採り入れ、また、花を絶やすことのようにしています。テーブルとは離れた場所にソファが置かれ、床暖房も施され、寛げるスペースです。亀を飼育の水槽があり、近隣の子供達と一緒に観察を楽しんでいます。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング・ダイニング・廊下のイスには好きなどところに寛いでいただき、おしゃべりしたりテレビを見たり好みに過ごしていただく		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、自宅で使っていた物や家具を置いていただいている	各居間にはクローゼット、自動便器のトイレ、身じまい用の洗面台が備え付けられています。使い慣れた家具・調度品を持参し、自分なりの寛げる部屋にしてもらっています。空調はスタッフが調整しています。タオル類は毎日、シーツ類は毎週交換し、衛生管理にも注意を払っています。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できること・わかることシートを確認してご本人ができそうなことはやってもらったり、試したり、できそうなことを見つけている、必要な部分をお手伝いする		

目 標 達 成 計 画

事業所 グループホーム
クロスハート二階堂・鎌倉

作成日 _____
2014年11月25日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	近隣との交流が、少しずつ出来つつあるが、さらに深めて信頼を築くことが必要	地域の皆様のお役に立つこと、また協力を得ることが出来る、互助の関係を築く	自治会と連携して町内会の防災訓練・季節の行事に参加、ホームの行事にも来ていただいたりランチ会等に近隣の方をお招きし理解を得る。	6ヶ月
2	3	開設10年を迎えるが老朽化している箇所があり、テラスの改築をして近隣に見える化を図る良い機会	テラスの改築をして老朽化の防止と風通しをよくする	建物の中がまったく見えなかった現状を変え近隣の方との交流の場としてテラスを使う(コミュニティーサロン)	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	クロスハート二階堂・鎌倉
ユニット名	B棟

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念「たくさんのよきものを人生の先輩たち、後輩たち、そして地域のみなさまに捧ぐ」とクロスハートベーシックを毎月のミーティングで共有している、又地域密着サービス事業所が地域で果す役割も話し合い実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会の行事に参加したり、ホームのご案内に掲示板や回覧板を利用させていただいたり、ランチ会にお招きしたり、自然に関わりができてきている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	見学時やお問い合わせがあればいつでもご相談に対応している。情報提供もしているまたランチ会のときに認知症のセミナーも開催し好評を得ている、今後も継続していく		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し、利用者や職員の近況報告、また取り組んでいるサービスや、近隣との関わりなど説明し、意見をいただいている		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市が主催のイベントや研修に協力している地域密着サービス連絡会やケアマネ連絡会にも参加しているため毎月市の職員とは顔をあわせている、市の窓口にも顔をだしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止宣言委員会を事業所内に設立し、所内研修、外部研修も参加させ、身体拘束をしないケアを行っている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修も毎年行っている、ご利用者に話しかけたり、接する時に意識したケアを心がけるよう周知している、ご家族来訪時もさりげなく観察している		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修も毎年行っており後見人制度についても社内・社外で学ぶ機会をもうけている、市主催の説明会には管理者が出席してスタッフに落とし込んでいる		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては問い合わせや見学時に説明し、契約日までに疑問やわからないことなどを確認し納得していただいた上で、契約日に再度理解しているか確認しながら契約している		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付の窓口設置している。玄関に理事長宛へのボックスも設置されて、これとは別に法人本部に相談できる体制がある。市や国保連に相談できることも知らせてある		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の全体ミーティングでスタッフの意見を聞く機会を設けている 法人本部にも直接スタッフの意見が届く体制になっている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に1回昇給についての面談を実地。他に随時職場環境について話し合う機会を設けている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内でクロスハートカレッジ研修が整備されており全員受講している、外部研修や内部研修も充実している、希望の研修も参加でき、スタッフのスキルアップを図っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域密着サービス連絡会や市主催の研修で同業者と交流する機会が多い、また法人内の同業グループの集りもあり勉強会や相談ごとなど共有してスキルアップを図っている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	訪問調査時や入居時に十分なアセスメントを行い、生活史や習慣・趣味等を把握、ご本人の言葉・動作・表情から気づきのケアを実践、信頼関係を大切にしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の相談の段階からご家族の願いや困りごとを聞きケアに反映させている、入居もご家族とのコミュニケーションを図り信頼関係を築いている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居に至った経緯とご本人・ご家族との面談で「今、必要な支援」を提供できるよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に生活しているとゆう感覚・お互い協力して、役割分担をし、家事や買い物、散歩、ドライブなど一緒に出かけて楽しんだり、日々の暮らしの中で楽しく過ごせる環境作りをしている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族とのコミュニケーションは日頃よりよくとっている 近況報告や気づき又あまり面会ないご家族には来訪を促したり、来訪時は相談ごとやご家族の思いを伺って支援している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人が生活していた地域での買い物や馴染みの場所に行ったりしている。昔からの知人や友人に来訪していただける方はご本人・ご家族の了解の上で来て頂いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者同士の会話を傾聴しながら、さりげなく場を提供したり、共同作業をしていただいたりしている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や転入時の相談や情報提供を随時行いご家族のフォローに努めている 死亡された場合もその後の信頼関係を築いている		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時にどのように過ごしたいか希望を聞き、アセスメント分析をした上でケアに落としている ご自分の思いが言葉として伝えるのが困難な方はしぐさや表情などから察するようにしている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族から生活歴や趣味や習慣等詳しく情報提供していただき、好きな事や習慣を生かした過ごし方が出来る様努めているまた居室に馴染みの家具等を持ち込んで頂いている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活の記録を毎日記入している、状態変化や必要に応じてアセスメントを実地、入居時と必要時は24時間シート使用し、ご入居者の状態把握に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを開催し、ご家族・ご本人・ナース・主治医の意見を聞き、スタッフで話しあったことをプランに反映している			
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にケアノートに記録している、センター方式の私の姿シートも活用、スタッフで共用しプランやケアの手順などの見直しを行っている			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人・ご家族の状況変化や重度化に対して「今」出来ることは何かを既存のサービスに捉われない柔軟な支援を行っている			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの方に来ていただいたり、防災訓練や普通救命講習会やセミナーに地域の方に来ていただいている			
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にご家族・ご本人に説明し、了解を得たら提携している医療機関と契約していただき2週間に1回の訪問診療を行っている			

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週訪問看護師にご入居者の状態を詳しく伝え、専門的な意見や指導を受け健康管理をしている、24時間コール体制を獲っており連携している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、病院に情報提供し適宜、様子を見に行き、退院の見通しがついたら衣料連携室と連絡を取り、カンファレンスを開催してもらっている。病院関係者とは日頃関係作りに努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に説明して理解いただいている。重度化した場合はその都度ご家族と話し合いをして今後の支援の方向性を決めている見取りケアもご家族の希望で医療機関の協力のもとチームで取り組んでいる		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応は繰り返し研修している。マニュアルも備えている、医療機関からの指導も受けている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災避難訓練を地域の方にも参加して頂きおこなっている。災害時にどのように避難するのか日頃シュミレーションしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者には常には敬意を持ち接している自尊心や羞恥心に配慮した言葉かけやさりげない対応を心がけている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人がやりたいことや願いを聞いたり、表情を読み取ったり意思疎通を図っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝食はその方の時間に合わせて提供している、スタッフのペースではなく、個々の入居者様のペースと希望を考慮し支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日の整容、服装、おしゃれに気を配っている、女性はマニキュアも楽しんでいる		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたい物を聞いて一緒に買い物同行したり、食事の準備をそれぞれ出来る方に割り振りしてスタッフと和気藹々食事の片付けまで行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量の記録、水分量のチェックをしっかりと行い、摂取量が少ない方には声かけや介助、食事の工夫、捕食等を適宜提供している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを施行、週1回歯科診療でもチェックしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様それぞれのパターンを把握して排泄介助をしている カンファレンスも適宜おこなっている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排泄パターンを排泄チェック表で確認、飲水を促したり運動を一緒に行ったりしている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は決めているが、その日の希望入浴も考慮している 入浴剤も入れてゆっくり楽しんでリラックスして頂いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、お昼寝される方やフロアのソファを好まれる片、布団にこだわりがある方、など自由にさせていただく		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方内容は入居者個人ファイルでいつでも確認でき服薬介助等の留意点はカンファレンスで周知、また管理薬剤師に薬の副作用等わからないことを相談できる体制にしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	好きな家事を好きなようにやっていただく自然とそれぞれ役割分担できている。お酒の嗜好品も楽しんでいたっている。外出が好きな方は買い物やドライブに出かけている。ゲームや運動はみんなで盛り上がり気分転換になっている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的に外出支援は行っている。喫茶店でお茶したり、お弁当持参で遠方にも出かけて楽しんだりしている、ご家族の協力にて外食したり、時には外泊していただいている		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	万が一なくしても良いと理解頂いたうえで小額のお金を持っていただいていることもある、ホームで管理している預り金からご本人に手渡して支払いまでやっていただいている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	出来る方は電話や手紙のやりとりを自由にやっていただいている、ご自分では出来なくて承諾いただいている場合はお手伝いしている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間はすべての人が居心地よく過ごせるようインテリアを落ち着いたものにし、生花も常に絶やさず季節を演出している、光や音・家具の配置も考えている、どの共用部分も清潔で暖かい空間を演出している		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング・ダイニング・廊下のイスには好きなどころに寛いでいただき、おしゃべりしたりテレビを見たり好きに過ごしていただく		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、自宅で使っていた物や家具を置いていただいている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できること・わかることシートを確認してご本人ができそうなことはやってもらったり、試したり、できそうなことを見つけている、必要な部分をお手伝いする		

